



# 日本人が世界に通用ようになった理由 ~「参加する」から「競い合う」へ

● **日本人トップ**  
アスリートたちの  
強化・研究活動を支援  
推進し、世界へ  
飛躍する!

講師; 熊本学園大学准教授  
府内 勇希氏

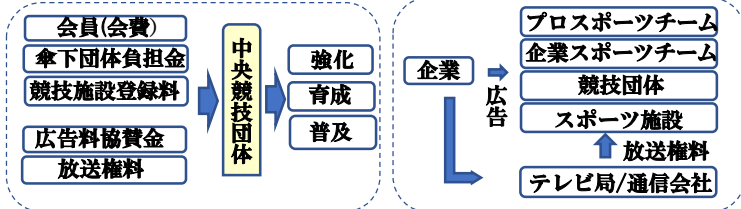
真剣に講義を聞く受講生の皆さん

## ● 国際競技力向上のポイントは3つ

- ① **スポーツ財源** → 国家予算・企業広告料  
傘下団体・放送権料等
- ② **アスリートの強化** → 施設整備・財政支援  
技術指導健康支援等
- ③ **“観る”スポーツ** → 国家戦略(親しめる環境  
整備)等

## ① スポーツ財源

- 国家予算(スポーツ庁資料2016年より)  
→ 300億円超(約7割が競技スポーツ)⇒リオ五輪並みで年々増大
- 中央競技団体収支
- 企業からスポーツへの資金



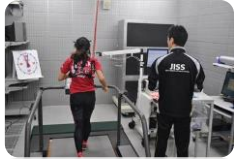
## ② アスリートの強化

### ● HPC(ハイパフォーマンスセンター)

五輪/パラ五輪競技等HP関連事業の戦略的  
推進/スポーツ医・科学研究支援/診療業務/情  
報サポート・高度な科学的トレーニング環境  
等を提供し国内外のHPスポーツの強化に貢献。



HPC(国立スポーツ科学  
センター&. 国立トレ  
ニングセンター)



<スポーツ科学研究施設>  
生理学実験室

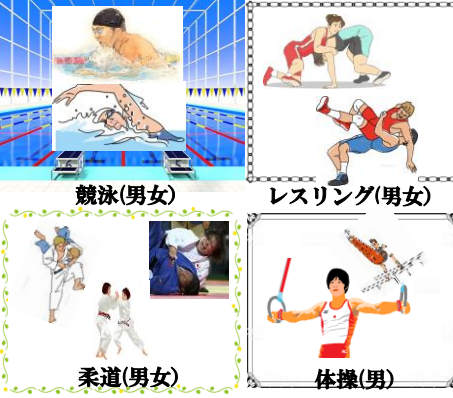


<国立トレーニング施設>  
競泳プール 体操

### ● HP(ハイパフォーマンス)サポート事業

メダル獲得の可能性が高い競技(ター  
ゲット競技)を「A」「B」「C」の3段  
階にランク付けし、ランクに応じて支援  
内容に傾斜をつける戦略を採用

#### <ターゲットAの競技>



### ● アンチ・ドーピング



#### <アンチ・ドーピング(AD) の規則違反>

- ・尿血液中に禁止物質存在
- ・禁止物質方法の使用/企て
- ・検査拒否/妨害
- ・禁止物質方法の所持
- ・禁止物質方法の不正取引/入手
- ・AD違反を援助/共謀/関与
- ・AD違反関係者とスポーツで関係  
など

## ③ “観る(会場に行く)”スポーツ

### ● スポーツは“する”だけではない!

○ 日常的にスポーツに親しみ楽しみ支え育てる活動に参画する機会を確保。「スポーツする人」だけでなくトップレベルの競技  
大会やプロスポーツ観戦など「見る人」、指導者など「支える(育てる)人」に着目し生涯、スポーツに親しめる環境を整備する。

### ● どちらも“観る”です

- ① “試合”を観にきた/応援して一体感を感じにきた。
- ② 会場を丸ごと楽しむ(様々な工夫を凝らした会場が増大)



大相撲観戦  
郷土力士・最良力士の  
応援。升席で食事を  
楽しみながら団樂観戦。



Jリーグ観戦  
12番目として地域チームの熱狂的  
応援サポート。地方/企業所属で  
資金面等支援。



プロ野球観戦(広島カーブの場合)  
広島カーブ;カーブ女子急増効果で人気上昇。球場で一体感。観戦  
+バーベキュー/フードコートで女性子供向けボールパーク化。貸切  
新幹線でいざ広島球場へ等々個性的サービスで満足度球界一!

## 受講生の感想(アンケートから抜粋)

- ・日頃はスポーツには縁がありませんでしたが少しは知識を得ることが出来ました。後期は  
スポーツ医学やスポーツ心理などの観点からのセミナーがあればと思います。
- ・講師陣のパッションに魅了され居眠りせずに楽しく受講できました。有難うございました。
- ・企画立案、大変ご苦労様でした。スポーツの良い講義を受講することができ心から感謝申し上げます
- ・7/12のスポーツは人づくりは大変良い話で、若い頃受けていればと思いました。

取材を終えて:『アスリートは勿論のこと、連盟・企業・指導者・研究者・国・自治体そして市民等いろんな人たちの力と支援が  
あって、世界に通用するようになったんだな!』と思いながら講演を聞き終わりました。今回は皆様のご協力を  
得て無事終了し、有難うございました。(くまもと県民カレッジ広報ボランティア HK作成)